

【受講者用】 応急手当普及員（再）講習 指導技法（展示説明）効果確認表

※コロナ禍での講習は、成人の人工呼吸は実施せず、小児乳児は指針通り実施する。

区分	項目	
周囲の安全確認	1. 周囲の安全確認についての正しい【説明】と【展示】	
	(1) 二次事故の防止について伝えたか	
	(2) 近づく前に周囲の安全を指さして確認したか	
	(3) 指の動きに合わせて目を動かしていたか	
	(4) 危険な場合の対応方法を伝えたか	
反応の確認	2. 傷病者の反応の確認についての正しい【説明】と【展示】	
	(1) 『反応なし』や『判断に自信が持てない場合』の対応を伝えたか	
	(2) 傷病者の耳元で声かけしたか	
	(3) 傷病者の反応の確認を顔と全身を見て確認したか	
	(4) 反応の確認を2段階で実施したか	
協力者の要請と依頼	3. 周囲の者に助けを求めることについての正しい【説明】と【展示】	
	(1) 大きな声で助けが求められたか	
	(2) 119番通報の依頼が正しくできたか	
	(3) AEDの依頼が正しくできたか	
	(4) 協力者がいない場合の対応方法を伝えたか	
呼吸の確認	4. 呼吸の確認についての正しい【説明】と【展示】	
	(1) 『普段どおりではない呼吸』について伝えたか	
	(2) 胸腹部の動きを見ながら呼吸の確認をしたか	
	(3) 5秒以上10秒以内（ゆっくり6カウント）で呼吸の確認をしたか	
	(4) 呼吸の判断結果を声に出したか	
胸骨圧迫	5. 胸骨圧迫についての正しい【説明】と【展示】	
	(1) 胸骨圧迫を必要な状態について伝えたか	
	(2) 胸骨圧迫を効果について伝えたか	
	(3) 胸骨圧迫の位置と伝えたか	
	(4) 胸骨圧迫の要領について伝えたか	
気道確保	6. 気道確保についての正しい【説明】と【展示】	
	(1) 気道確保が必要な理由について伝えたか	
	(2) 気道確保の効果について伝えたか	
	(3) 気道確保のタイミングについて伝えたか	
	(4) 気道確保の方法を正しく伝えたか	
人工呼吸	7. 人工呼吸についての正しい【説明】と【展示】	
	(1) 人工呼吸の必要性について伝えたか	
	(2) 省略可能な場合と省略する場合の対応方法を伝えたか	
	(3) 吹き込む量、吹き込む時間について正しく伝えたか	
	(4) 人工呼吸ができなかった場合、すぐに胸骨圧迫に進むことを伝えたか	
心肺蘇生法	8. 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返すことの正しい【説明】と【展示】	
	(1) 中断時間のリスクについて伝えたか	
	(2) 中断してよい場合と対応方法について伝えたか	
	(3) 有効な胸骨圧迫ができたか	
	(4) 有効な人工呼吸ができたか ※コロナ禍では実施しません。	—
AEDの使い方	9. AEDについての正しい【説明】と【展示】	
	(1) AEDの必要性和効果について伝えたか	
	(2) AEDの使い方について伝えたか	
	(3) パットを貼る前のチェック項目について伝えたか	
	(4) 解析開始まで胸骨圧迫を続け、直ちに再開したか	
救急隊への引継ぎ	10. 救急隊への引継ぎについて	
	(1) 救急隊に引き継ぐ内容について伝えたか	
救急の現状について	(2) AEDのパッドは貼ったまま引き継ぐと伝えたか	
	11. 救急の現状について正しく【説明】できたか	
補足	(1) 救急車の現場到着時間（全国、大和市）、救急要請件数を伝えたか	
	(2) バイスタンダーの重要性を伝えたか	
	12. 全体の流れ、話し方、印象、時間管理が指導者として適切であったか	

※ 展示の時間は15分です。
 ※ テキスト、メトロノームは使用することができます。